

版洗浄装置 『ACTシリーズ版』

ACT100シリーズ
(実装基盤用メタルマスク専用)



装置サイズ
900W × 1350D × 1550Hmm

ACT200シリーズ
(微細線対応洗浄装置)



装置サイズ
950W × 1350D × 1800Hmm

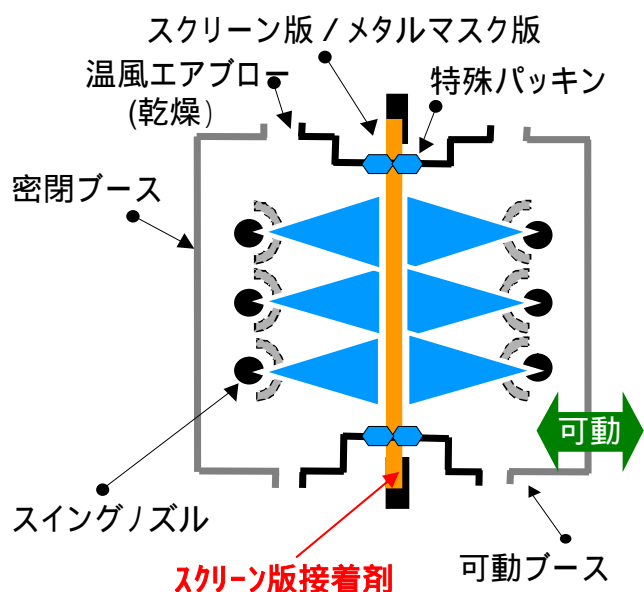
ACT300シリーズ
(微細線用リソ対応洗浄装置)



装置サイズ
1110W × 1550D × 1800Hmm

ACTシリーズ版洗浄装置の基本構成と特徴

<基本構造>



<局部洗浄の構造>

- [1] 版を洗浄で壊さない
印刷時に汚れた部分のみ洗浄

版枠とスクリーンの接着を侵さない!

- [2] 液の消費を抑える
版洗浄時の接液部が最小

洗浄液消費量: 約35cc/版!

<高洗浄>

- [1] 高圧力、大流量によるシャワー洗浄
- [2] 特殊ノズル配列、スイング機構

洗浄能力(実績): 開口寸法20 μ m!

- [3] 洗浄時間: 約15分/版
内訳・・・洗浄: 4分、液切: 1分、乾燥: 10分

手拭洗浄 / 洗浄機洗浄の比較

工法 部品	洗浄後の版の状態		印刷後の状態		組立後の状態	
	手拭き	洗浄機	手拭き	洗浄機	手拭き	洗浄機
0402 チップ					良 不良例 	良
0603 チップ					良 不良例 	良
1005 チップ					良 	良
1608 チップ					良 	良

洗浄機の洗浄品質は抜群です！

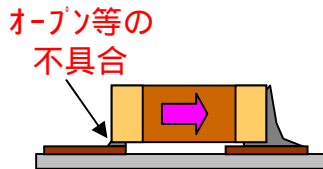
手拭では小さい部品で組立不良発生

洗浄機を使用した場合には組立不良は0

1608チップ当たりから半田量の差が顕著になってくる(組立不良予備軍)

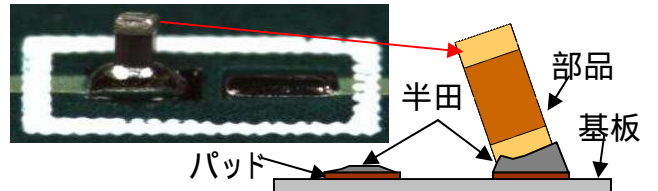
不具合事例

半田不足 / 部品偏り (片側パッドに寄る)



オープン等の
不具合

マンハッタン(ツームストーン)現象



部品
基板
半田
パッド

手拭洗浄品質ばらつき



洗浄機による洗浄品質の安定化

品質コストを考慮すると、洗浄機導入コストは安いもの！

(品質コスト: 半田不足改修: 再作工数、再検査工数、タッチアップ等)
手拭作業では、人の目による確認やペーストの確実な除去は困難